足場の組立て等の業務特別教育講習会受講報告

フィールド科学系部門生物生産技術班

近松　一朗

1. はじめに（目的等）

西条ステーション（農場）では、研究や実験、病死した家畜等を焼却炉で焼却処理しており毎年点検を行っている。点検は業者に委託し行っているが点検に必要な足場組立てを業者に委託し行っており、今後もこの点検は毎年行われる。そのため今後の足場組立を職員で行う事による経費削減を目的とし受講した。

1. 期間・場所

期間：平成２８年１１月４日　（金）

会場：林業ビル8Ｆ　広島県労働基準協会（広島市中区八丁堀8-23）

1. 参加者等

受講者：30名

1. 研修内容

足場及び作業の方法に関する知識（3ｈ）

・足場の組立て等業務従業者の心がまえ

・足場に関する知識

・各種足場の組立て、解体および変更の作業の方法

工業用設備、機械、機具、作業環境等に関する知識（0.5ｈ）

・クレーン等揚重機や運搬機械の取扱い

・足場組立ての作業に使用する工具、器具等

・強風等悪天候時における措置

労働災害の防止に関する知識（1.5ｈ）

・墜落防止の設備、飛来・落下防止の措置

・保護房の使用方法および保守点検の方法

・感電災害の防止

関係法令（1ｈ）

・労働安全衛生法・同施工例

1. 所感

　　　比較的に低い物を含めればうま足場など西条ステーションの業務でも足場は使用されてきたが特別教育が必要な足場を組立てる必要は無かった。今後は少ない機会ではあるが足場を組む機会があり今回の特別教育を受講する事となった。今回の特別教育を受講し脚立や足場作業の危険性や高所作業時の落下防止の措置の重要性、組立や解体の作業手順を正しく理解していなければ最悪の場合、命に係わる事を学ぶ事ができた。西条ステーションで組み立てる必要がある足場は非常に小さい物であり、落下等で命を失う事は無いと思われるが組立や解体時の怪我などに備えた安全装備や点検、高所作業時の安全装備や労働災害発生時の対策など今後の業務に活かせる内容だった。特にクレーンやホークリフト等の簡単な安全作業のポイントの説明が有ったが、業務で多く使用する機械だけに守られていないポイントに気が付く事が出来た事が本当に良かったと思う。